

高耐久防水仕様

断熱仕様

F4065

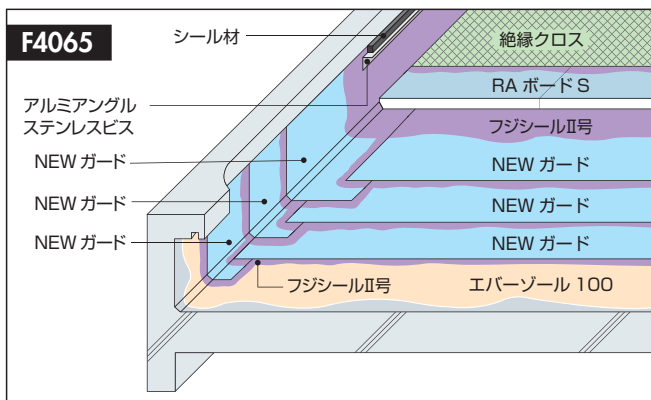


下地勾配: 1/80~1/50 平場重量(断熱35mm): 11.5kg/m²

工程	平場
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	NEW ガード
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	NEW ガード
6	フジシールII号 1.0kg/m ²
7	NEW ガード
8	フジシールII号 1.5kg/m ²
9	RA ボード S
10	絶縁クロス

工程	立上り
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	NEW ガード
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	NEW ガード
6	フジシールII号 1.0kg/m ²
7	NEW ガード
8	フジシールII号 1.5kg/m ²

※立上りを露出仕上げにする場合、工程7をNEWフォルテHBに置き換え、工程8を保護塗料仕上げとします。



断熱仕様

F4055

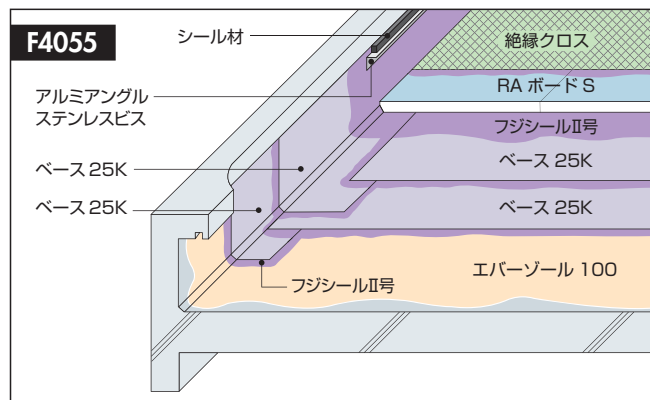


下地勾配: 1/80~1/50 平場重量(断熱35mm): 11.1kg/m²

工程	平場
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	ベース 25K
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	ベース 25K
6	フジシールII号 1.5kg/m ²
7	RA ボード S
8	絶縁クロス

工程	立上り
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	ベース 25K
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	ベース 25K
6	フジシールII号 1.5kg/m ²

※立上りを露出仕上げにする場合、工程5をNEWフォルテHBに置き換え、工程6を保護塗料仕上げとします。



注意事項

- 適用下地勾配、1/80~1/50。
- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください(P41、P42参照)。
- 防水層施工張りしろ100mmを確保できるドレンを推奨いたします。
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください(別途)。また、種類がご不明の場合はご相談ください。
- 端部押え金物は別途です。
- 立上り端部を網状ルーフィングで納める場合は、最上層のシートが所定の位置にくるようにし、下層になるほど少しずつ短くして、網状ルーフィングで増張りしてください。

植栽防水仕様 タフネスガーデンルーフシステム

管理型緑化仕様

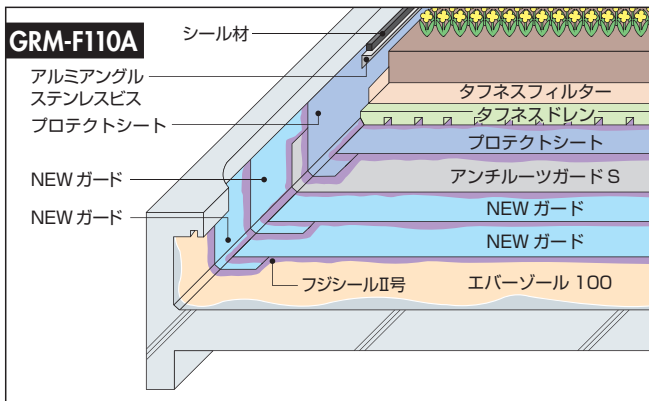
GRM-F110A



下地勾配: 1/80~1/50 平場重量: 15.8kg/m²

工程	平場
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	NEW ガード
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	NEW ガード
6	フジシールII号 1.5kg/m ²
7	アンチルーツガード S
8	フジシールII号 1.0kg/m ²
9	プロテクトシート
10	フジシールII号点張り
11	タフネスドレン
12	タフネスフィルター
13	芝・草花・低木・中木など(別途)

工程	立上り
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	NEW ガード
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	NEW ガード
6	フジシールII号 1.5kg/m ²
7	アンチルーツガード S
8	フジシールII号 1.0kg/m ²
9	プロテクトシート



省管理型緑化仕様

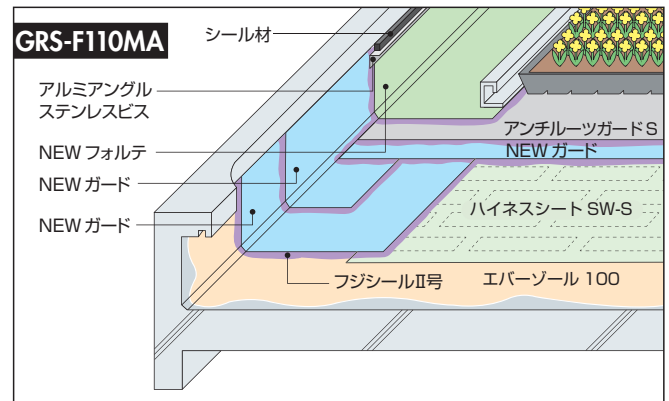
GRS-F110MA



下地勾配: 1/80~1/50 平場重量: 8.7kg/m²

工程	平場
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	ハynesシート SW-S
3	フジシールII号 1.2kg/m ²
4	NEW ガード
5	フジシールII号 1.5kg/m ²
6	アンチルーツガード S
7	セダムユニット(別途)

工程	立上り
1	エバーゾール 100(またはSE) 0.2kg/m ²
2	フジシールII号 1.2kg/m ²
3	NEW ガード
4	フジシールII号 1.0kg/m ²
5	NEW ガード
6	フジシールII号 1.5kg/m ²
7	NEW フォルテ



植栽防水の注意事項

- 屋根排水面積は、周辺環境、隣接建物、壁面積等を考慮する(ドレンの数は安全性を高く設定してください)。
- 瞬間的な雨量に対し、オーバーフロー管を設置してください。
- 風荷重(正圧・負圧)に対し、十分配慮してください。
- 緑化工事中に防水層を傷つけない様、養生を行ってください。
- 高層階の排水を低層階で受ける場合は、排水経路を確保してください。
- 土壌を入れる場合は、防水層の端末よりも150mm以上下げてください。
- 定期的な点検を実施してください。